

# はじめにお読みください

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## 1 同梱品を確認します

万が一同梱品に不足がありましたら、お買い求めの販売店にご連絡下さい。

- 本体 ..... 1台
- ゴム足シール ..... 4個
- リモコン ..... 1個
- リモコン用乾電池（単四型乾電池） ..... 2個
- ACアダプター ..... 1個
- AVケーブル（約1.5m） ..... 1本
- 地上デジタル専用B-CASカード契約書 ..... 1枚
- ☑ 取り扱い説明書（本紙） ..... 1枚



※地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双方向サービスには対応しておりません。又、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。

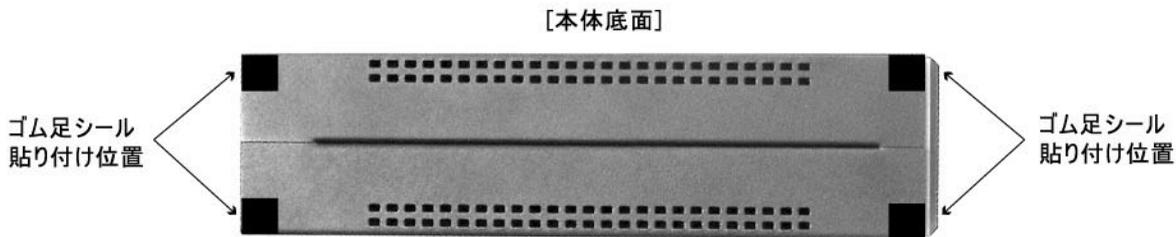
※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

### 保証書について

本製品の保証書は、本紙（はじめにお読み下さい）に印刷されていますので、修理の際には、必要事項を記入の上、本紙保証書部分をコピーいただき、本製品と共にお送り下さい。尚、ユーザ登録及び修理の際には、シリアルナンバーの記入が必要ですので、本製品のテレビ画面でシリアルナンバー（英数字）を表示して確認いただき保証書に記入して下さい。

### ゴム足シールの貼り付け

縦置き設置あるいは横置き設置するときに、本体底面となる四隅位置に付属のゴム足シールを貼付して下さい。



### ご注意事項

※本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

※地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双方向サービスには対応しておりません。又、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。

※ケーブルテレビ等で周波数変換パススルーがUHF帯以外（VHF帯（1～12ch）、MID/SHB帯（C13～C63ch））の場合、受信することが出来ません。

※既存のアンテナ設備ではデジタル放送を受信できない場合があります。デジタル放送に対応したアンテナを接続してください。電波の受信状態が不安定な場合、映像が途切れたりブロックノイズが現れることがあります。アンテナの受信感度が低い場合はアンテナを調整していただくか、あるいはデジタル放送対応のブースターで電波を増幅してください。放送波のエリア内であっても、建物や地形により電波が遮られる場合や電波の受信状況によっては視聴頂けない場合もあります。

※デジタル放送を480iに変換したアナログ信号が出力されます。

※D端子ケーブルで接続する場合には、D3以上の入力端子を持つテレビと接続してください。

※USB2.0外付けハードディスクドライブは、別途ご用意下さい。尚、全ての市販のUSBハードディスクやUSBスティックメモリに対して動作を保証するものではありません。購入に際しては、お客様の責任にてお願い致します。

※USBのパスパワー供給電流は規格により500mAとなっています。それ以上の電流を消費するハードディスクを接続した場合、正常に動作しないことがあります。

# はじめにお読みください

※仕様及び外觀は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## 2 B-CASカードを本体にセットします

⚡ B-CASカードをセットするときは、本体を電源コンセントから抜いて下さい。

地上デジタル放送を視聴する為には、本体に付属のB-CASカードを正しくセットする必要があります。  
必ず図のようにセットしてください。

### B-CASカード契約書について

同梱されているB-CASカードは、地上デジタル放送を視聴頂く為の大切なカードです。ご使用の際には、カードが添付されている地上デジタル専用B-CASカード契約書の内容を必ずお読みいただき、理解した上でフィルムを剥がしてカードを取り出して下さい。

### B-CASカードの取扱について

B-CASカードをセットする時は、向きに注意して確実に差し込むようにして下さい。本体通電中にB-CASカードを抜き差ししないで下さい。B-CASカードのIC（集積回路）金属端子には手を触れないで下さい。B-CASカードは、大切に扱い、傷つけたり変形したりしないよう十分に注意して下さい。B-CASカードは、水にぬらしたり、ぬれた手で扱うなどしないよう注意して下さい。

### B-CASカードについてのお問い合わせ

B-CASカードは、地上デジタル放送を視聴頂く為のカードです。万が一、破損や紛失などした場合は、下記の株式会社ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ・カスタマーセンターへご連絡下さい。

[B-CASカードに関するお問合せ先]

株式会社ビーエス・コンディショナルアクセス・システムズ・カスタマーセンター

電話 0570-000-250（受付時間 10:00～20:00）



[本体正面]

B-CASカードのセットは、  
本体を立てた状態で、  
向かって左側がカード「矢印」面  
（右側がIC金属端子がある面）  
となる向きで、カード「矢印」を  
本体の方向に向けて、しっかりと  
差し込んでください。

[B-CASカード]

# はじめにお読みください

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## 3 アンテナとテレビと電源を接続します

⚡ アンテナ及びテレビと接続する際、本体を電源コンセントから抜いてください。

### 3-1 アンテナを接続します

本体のアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナを市販のアンテナケーブルで接続します。

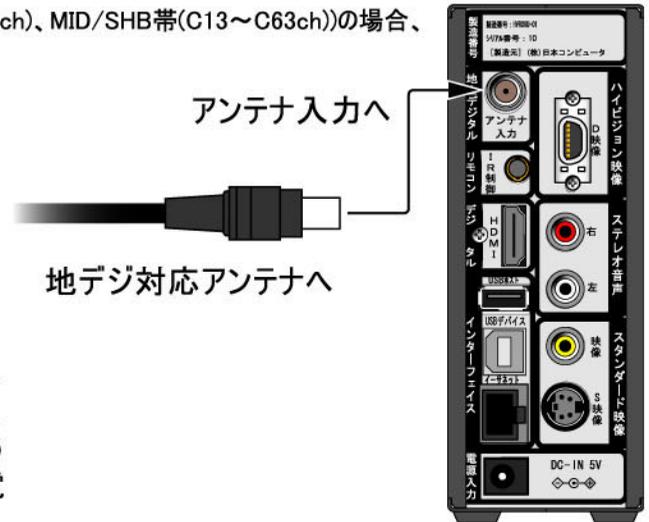
※ケーブルテレビ等で周波数変換パススルーがUHF帯以外(VHF帯(1~12ch)、MID/SHB帯(C13~C63ch))の場合、受信することが出来ません。

#### テレビアンテナの設置

地上デジタル放送の受信には、送信塔の方向に地上デジタル放送受信用アンテナを設置する必要があります。

#### 受信ができない場合には

本製品をご利用になる地域が地上デジタル放送を視聴可能かどうか最寄の販売店や、総務省の地上デジタル放送受信相談センター(TEL 0570-07-0101)などにご確認ください。放送波のエリア内であっても、建物や地形により電波が遮られる場合や電波の受信状況によっては視聴頂けない場合もあります。電波の受信状態が不安定な場合、映像が途切れたりブロックノイズが現れることがあります。アンテナの受信感度が低い場合はアンテナを調整していただくか、あるいはデジタル放送対応のブースターで電波を増幅してください。



[本体背面]

# はじめにお読みください

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVバススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

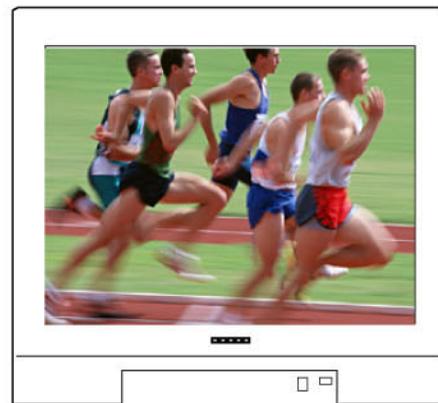
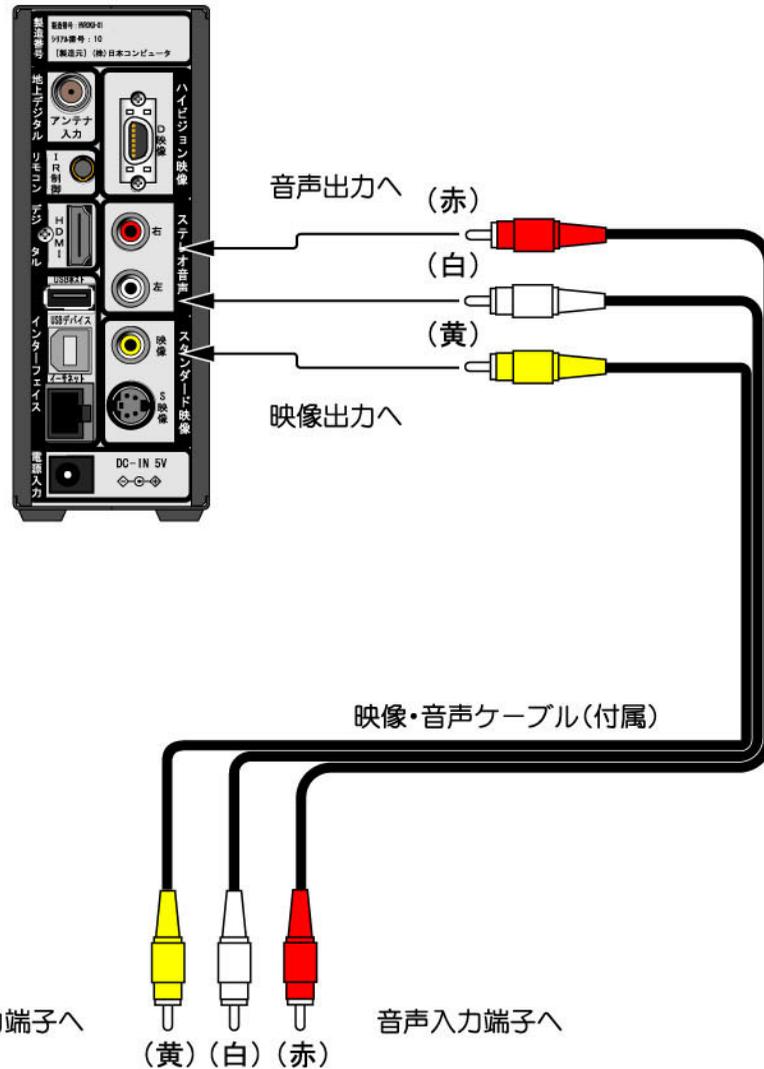
## 3-2 ビデオ/オーディオケーブルで接続します

アンテナ及びテレビと接続する際、本体を電源コンセントから抜いてください。

アナログ(テレビ)端子に接続する場合には、付属のビデオ/オーディオケーブルの黄コネクタ(映像コネクタ)と赤・白コネクタ(音声コネクタ)をご利用下さい。

S端子(ビデオコネクタ)で接続する場合には、市販のSビデオケーブルをご利用下さい。

本機背面



テレビ

# はじめにお読みください

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVバススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

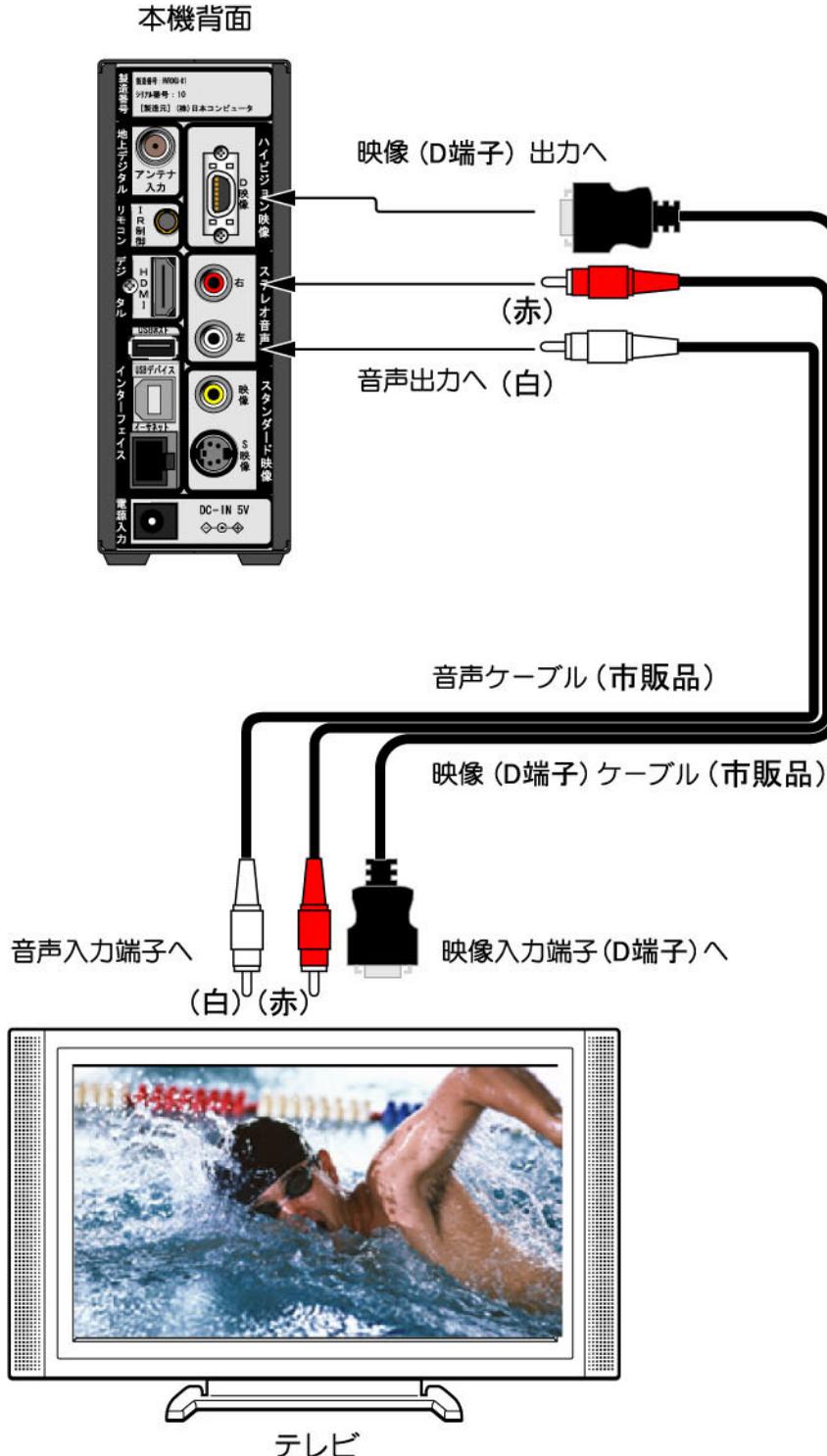
## 3-3 D端子ケーブルで接続します

⚡ アンテナ及びテレビと接続する際、本体を電源コンセントから抜いてください。

市販のD端子ケーブルで接続してください。

D端子ケーブルで接続する場合には、D3以上の入力端子を持つテレビと接続してください。

オーディオケーブルには、付属のビデオ/オーディオケーブルの赤・白コネクタ(音声コネクタ)部分を使用するか、市販のオーディオケーブルをご利用下さい。



# はじめにお読みください

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVバススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## 3-4 HDMIケーブルで接続します

⚡ アンテナ及びテレビと接続する際、本体を電源コンセントから抜いてください。

HDMI端子で接続する場合には、市販のHDMIケーブルをご利用下さい。



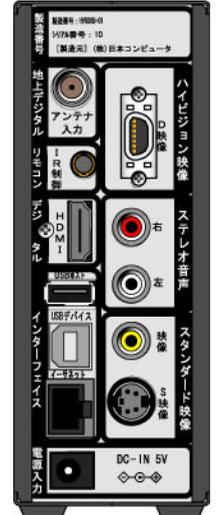
# はじめにお読みください

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVパススルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

## 3-5 ACアダプターを接続します

付属のACアダプターを本体背面の電源入力端子とコンセントに接続してください。



[本体背面]

# はじめにお読みください

※仕様及び外観は、製品改良の為に予告無く変更される場合があります。

地上デジタル放送は、テレビジョン放送及びEPG（電子番組表）、字幕放送が受信可能です。データ放送・CATVバスルー・双方向サービスには対応しておりません。また、BS/110度CSデジタル放送には対応しておりません。また、本製品は日本国内専用となりますので、海外では使用できません。

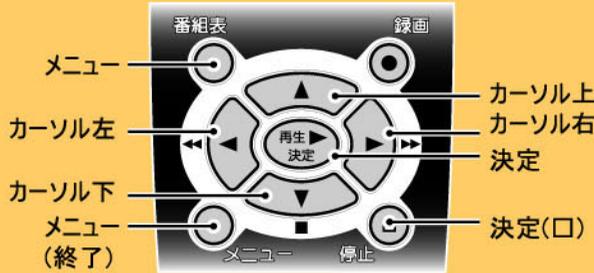
## A 機器情報を見る（シリアル番号）



お知らせ

トップメニュー画面より「機器設定」を選択し、機器設定画面の「機器情報」より、本製品の「シリアル番号」を確認する事ができます。

### トップメニューにおけるリモコン操作



トップメニューに入る為には、リモコンのメニューキーを押します。メニュー画面での基本的なリモコン操作は、カーソル上下左右キーで移動して、決定キーで選択をし、メニュー画面から抜ける場合メニューキーを押します。メニュー画面では画面下段に、その画面で使用できるキーのガイド表示がありますので、ガイドに従って操作してください。

### トップメニューからの選択

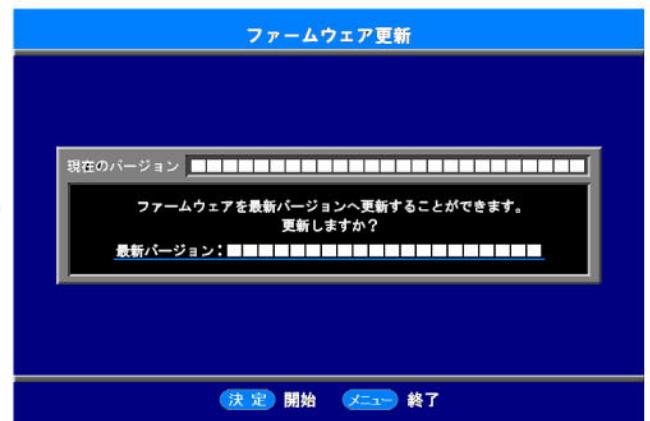


① トップメニュー画面

② 機器設定メニュー画面

リモコンのメニューキーを押して、①トップメニュー画面を表示します。①トップメニュー画面よりカーソルキーで「機器設定」を選択し②機器設定メニュー画面を表示します。②機器設定メニュー画面より、「機器情報」を選択する事により、本製品の「シリアル番号」を確認する事ができます。

## B ファーム更新



トップメニューから「機器設定」を選択し決定キーを押すと機器設定画面（左上画面）に入ります。機器設定画面で「ファームウェア更新」を選択・決定するとファームウェア更新画面（右上画面）が表示されます。ファームウェア更新画面で決定キーを押すとインターネット経由でファーム更新が始まります。尚、ファーム更新中は本製品の電源を切るなど操作をしてはいけません（再起動できなくなる恐れがあります）。又、ファームが既に最新バージョンの場合はその旨が表示されます。

ファーム更新をされる前に、機器設定画面（左上画面）の「ネットワーク設定」に入り「ネットワークIPアドレス」を設定いただく必要があります。